

## ぼくのねこボー

## やさしいうそはダメですか？

2年 T・Kさん

ぼくの名前は、森・ボー・トム。二つの名前を持つ愛されキャットだ。最近、ぼくに新しい家族ができた。今日は、ぼくの大切な二つの家族を紹介しよう。

ある日、ぼくは迷子になった。新しい町へひっこしをしたからだ。「犬は人につき、猫は家につく」と言われているらしいが、そんなことはない。ぼくは家族とはなれてしまいいとも心細かった。クルクルと回っていたぼくに一番最初にやさしく声をかけてくれたのがとおるだった。

「おじやまします。」きんちようしていたぼくは、のどをゴロゴロとならした。とおるが用意してくれたかごの中でぼくは休ませてもらった。とおるの家族がぼくのことを話している。耳をびくびくうごかしてその会話をずっと聞いているんだ。

とおるが学校から帰ってきた。ん？このにおい。どこかでかいだことがある気がする。もしかして、とおるはあつしの友達なの？あつしのこと知っているなら、ぼくのことを伝えてくれないかな？むねが急にドキドキしはじめた。

それからのとおるは、心に雲がかかったように元気がなかった。友達とけんかでもしたのかな？ばんごはんがすんだら今日もひもであそぼうよ。ね、とおる。元気出して。

トム？と突然名前をよばれた。びっくりして顔を上げたら、とおるは泣いていた。大粒の涙がツルツルつとぼくの鼻にあたったんだ。ぼくはとおるにギョッとハグをした。心の音が大きく聞こえてきてとても苦しそうだ。大丈夫？大丈夫だよ。とおるの気持ちはしっかり伝わっているよ。本当は悪いやりのあるやさしい人だってことも。本当のことを知りたくない。自分に都合よく考えたいけど苦しくなってしまうのかな。とおるは、きちんと自分の気持ちを考えて友達に心もりかいしようかとがんばったんだね。そして、どんな時も友達を大切にしようって。正直にあやまることは大切だけど、自分にも友達にも正直でいれるとおるのやさしさは宝物だと思うんだ。ぼくがとおるだったらどうしただろう。自分の気持ちをコントロールするのはとてもむずかしいよね。でも迷った時は大切な人にとって良いと思う方をえらぼうと思う。

ぶじに家に戻ったぼくは、お母さんが病院へつれて行ってくれたこと、お父さんがかしこい猫だね、とほめてくれたことをあつしに話した。転校してきたばかりのぼくに、とても親切にしてくれたんだ、とあつしは教えてくれた。二人でやさしい友達ができてうれしいね、と笑った。

今度はぼくの家にあそびにきてね。ぼくたちの心に七色の虹があらわれてキラキラした気持ちになった。ずっとずっと大好きだよ。